



【写真】

－ 力を合わせて雪上綱引き！ －

第 17 回美方高原雪まつり

県内屈指の積雪地であることを逆手にとって、雪と親しみ、雪と遊ぼうと毎年行われている「美方高原雪まつり」。

メインイベントの「全日本雪上綱引き競技大会」では、滑りやすい足元に転倒者が続出。それでも力を合わせて綱を引く姿に、会場からは大きな声援が送られていました。

(本号 15 ページに関連記事を掲載)

今月の主な内容 (Contents)

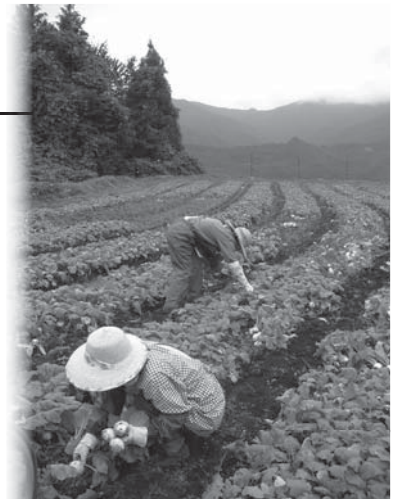
- 2 まちのうごき
めざせ「日本一のふるさと給食」
- 4 まちからのおしらせ
高齢者の健康・生活に関する意向調査の結果報告
平成 25 年度がんばった児童・生徒を表彰
役場各課などからのお知らせ ほか
- 14 まちのできごと
- 16 ふるさとの誇りを訪ねて
(別冊 けいじばん、いきいきカレンダー)

子どもたちが毎日口にする「給食」は、食や健康の大切さを感じ、それらに感謝する気持ちを育む「食育」にとって大変重要なもの。

町教育委員会では、全国に名をはせる但馬牛、日本海の新鮮な海の幸、そして農家の皆さんが丹精込めて育てた野菜など地元産食材を使った「地産地消」を核として「日本一のふるさと給食」の実現を目指し、さまざまな取り組みを行っています。

今回はこうした取り組みの概要をご紹介します。

●問い合わせ先 町教育委員会教育総務課



【写真】ふるさと給食推進員の橋渡しにより、兎和野高原で収穫されたカブが(上)、香住学校給食センターで調理され(下)、子どもたちの給食の献立に並びました

■ふるさと給食とは

香住、村岡、小代の3学校給食センターを中心として食育の一翼を担っている給食。今年度には香住区内の6幼稚園でも給食の提供を始め、現在、町内すべての幼稚園(小代認定こども園を含む)、小学校、中学校でふるさとの食材を生かした、おいしくて栄養バランスの良い給食が提供されています。現在、町内の子どもたちに提供しているのは1日約2000食で、これまでにふるさと給食の豊かな食材を利用してきました。

平成24年度から始まったふるさと給食では、この考え方をさらに前進させ、これまで以上に地元産食材をふんだんに使用することで、子どもたちにふるさとの農林水産業や特産物への理解を深めてもらうと同時に、生産規模や消費量の拡大による農林水産業の振興を目指しています。

■課題と取り組み

村岡、小代の2学校給食センターでは、これまでから給食食材の一部を地元農家の皆さんに納入してもらっていましたが、地元産食材の利用をさらに拡大しようとするときさまざまな課題が見えてきました。

野菜を例に挙げると①大きさや形が不均一であること②必要量の確保が困難であること③生産者の高齢化による運搬の負担——などです。また、給食食材に占める地元産の割合は、米や加工品のみ(香住区は米地みそ、村岡区は矢田川みそ、小代区はみずうま味噌)が100%である反面、野菜は約17%程度(平成24年度における主要野菜の使用実績)と伸び悩んでいます。

こうした需要と供給のバランスをとり、地産地消による地元産食材の活用を推進するためにはどうすればいいのか。この課題に正面から向き合い、地元産食材を献立に盛り込んだ「日本一のふるさと給食」の実現と、この取り組みを生かした地域の活性化を図ろうと「ふるさと給食推進委員会」が平成24年5月に発足しました。

メンバーはJAたじまや但馬漁協などの生産・流通団体、個人生産者、学校給食センター関係者など計9人。委員長には柴崎一秀氏(株式会社トキワ社長)が就き、地元産農林水産物などを給食食材として安定的に供給できる

体制づくり、新たな食材の発掘や献立の検討などについて協議を進めています。

また、同委員会の提案を受けて昨年10月、生産者と学校給食センターの橋渡し役となる「ふるさと給食推進員」を町教育委員会内に配置。今年度の取り組みとしては、村岡区内で生産されたカブを推進員が香住学校給食センターに運搬し、給食で提供したほか、ニンジン、キャベツ、ピーマンといったさまざまな野菜が推進員によって各学校給食センターに届けられています。消費量の拡大や安全性のPRだけでなく、農家にとっては、自分たちが育てた野菜が子どもたちの給食に提供されることで「生きがいづくり」につながります。また、広範囲での流通が可



【写真】柴山港で赤イカのセリを見学し、地元産食材の給食への提供方法などを模索するふるさと給食推進委員会の皆さん

「地元産食材へのこだわり、と「あふれる愛情、



【写真】
香住産の魚を使った中華揚げを食べる子どもたち
(2月25日、小代認定こども園)

めざせ！ 「日本一のふるさと給食」

能になったことで、新鮮な地元産食材の確保がさらに容易になる可能性を見出しました。

■さらなる広がりを——

町では地産地消の推進を図るため、地元で水揚げされた魚介類や町内産但馬牛を給食で提供し、子どもたちにふるさとの味のおいしさを感ずってもらい、ふるさとへの愛着を深めてもらう機会を設けています。毎月1回の「魚食普及の日」、そして各学期に1回の「もおうくと食べよう但馬牛」がそれぞれ、全国学校給食週間に合わせて、1月28～30日には「ハマチの照り焼き」や「但馬牛すき焼き」が献立に並んだほか、香住産の「かにのほほえみ米」や村岡産の「板仕野米」が一斉に提供されました。

一方、食材供給側の新たな動きとして、ふるさと給食の趣旨に賛同した農業法人「美方ファーム」(小林清基代表取締役)は、自社で肥育している但馬牛の牛ふんたい肥を利用して、長年耕作されていなかった農地で給食提供用の玉ねぎの栽培を

始めました。昨年7月には計530kgの玉ねぎを各学校給食センターに納入、給食食材として利用したほか、同年11月には今年用の収穫に向けて玉ねぎ苗の植え付けを行いました。
また、ふるさと給食に関心を持った「長井ふれあい朝市グループ」(西岡誠代表)の役員の方々に対して推進員が説明を行うなどさらなる広がりを見せています。

ふるさと給食や地元産食材の給食利用について興味がある農家や生産者団体の皆さんは、ぜひお気軽にご連絡ください。未来を担う子どもたちに欠かすことのできない「食育」や「ふるさとを愛する心」を育むために、そして農林水産業を営む人をはじめとした地域の皆さんの元氣力アップのためにも、今後ともふるさと給食の取り組みにご理解とご協力をお願いします。

なお、今回ご紹介したふるさと給食の詳細は町ホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。



【写真】
ふるさと給食の献立の一例
ハマチの照り焼き(左上)
但馬牛ごはん(右上)
但馬牛すき焼き(左下)
ハタハタのから揚げきのこあんかけ(右下)

～ お知らせ ～

村岡学校給食センターの新施設が3月26日に竣工することに伴い、4月から連絡先が次のとおり変更となります。

TEL 99・5050、FAX99・5051
(市外局番はいずれも 0796)

いきいき通信



●問い合わせ先
いきいき相談センター (役場福祉課内)
TEL 0796・36・4004 (直通)

高齢者の健康・生活に関する 意向調査の結果について

～いきいき元気生活を目指して～

今回は、昨年、本町と京都大学大学院医学研究科が合同で行った調査の結果をご紹介します。

この調査は、町内在住の高齢者の生活実態や健康に対する意識を把握するとともに、介護サービスや高齢者の保健福祉サービスなどに対するご意見を広くお聞きし、今後の取り組みをより充実させるために行いました。

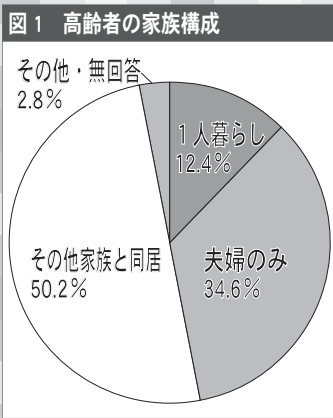
調査の実施にあたっては、多くの皆さんからのご回答や貴重なご意見、そしてご協力をいただきありがとうございます。調査結果は後述のとおりですが、誌面の都合上、すべての項目について掲載していないことをご了承ください。

① 調査概要

調査は、町内在住の65歳以上(平成25年4月1日現在)の高齢者のうち介護保険認定者を除く5401人を対象として郵送調査法(一部は訪問回収)で行い、5094人から有効回答をいただきました。回答率は94.3%でした。
なお、本人からの回答は有効回答数の86.9%で、残りはご家族から回答を得ました。

① 家族構成は

図1は、町内の高齢者の家族構成を示したものです。「1人暮らし」と「夫婦のみ」と回答した人の割合を合わせると約47%で、全体の半数近くを占めています。

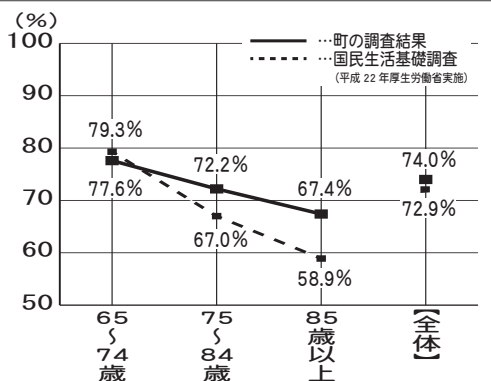


② 健康観と服薬状況は

「自分は健康だと思う」という高齢者の健康観について、今回の調査結果と平成22年に厚生労働省が行った「国民生活基礎調査」の結果を比較したものが図2-1です。

全体では香美町(74.0%)と国(72.9%)は同程度でしたが、後期高齢者(75歳以上)をみると、75歳以上84歳以下で約5%、85歳以上では約9%といずれも本町が高い結果となりました。つまり、国全体よりも町内の後期高齢者の方が「健康観が高い」といえます。

図2-1 高齢者の健康観



しかし「何種類の薬を飲んでいないか」という設問に対して、「飲んでいない」と回答した人は23.7%で、7割以上

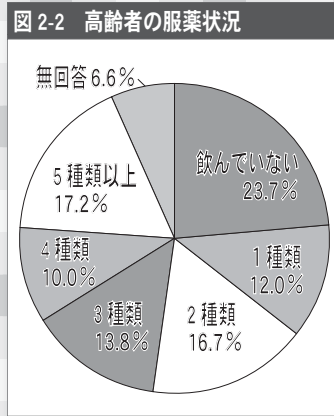


▲昨年行った「転びにくい体づくり教室」の様子
 参加した皆さんは介護予防体操などに取り組みました

そうした人も含めた高齢者が要介護リスクを低く抑えるためには①認知機能の低下予防②運動機能の向上③うつ予防——が特に必要となることが分かります。

図3は高齢者の社会参加状況を男女別で示したものです（複数回答）。週1回以上外出している人の割合は、男性に比べ女性の方が高いことが分かります。項目別には①畑仕事②地域活動（自治会行事、老人クラブなど）③趣味や習い事——の順に続きます。

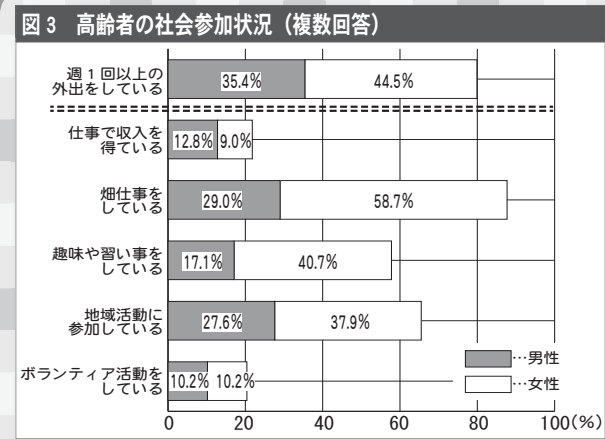
③ 社会参加状況は



の人が何かしらの服薬を行っていることから（図2・2）、健康観は高くても治療中の持病などを抱えている高齢者が多いことが分かります。

今回の調査では「生活機能に関する問診」も同時に行いました。その結果をもとに、要介護となるリスクを持つ人にとって必要な予防・改善策とその男女別割合を示したものが図4です。本町では80歳以上の人で要介護リスクが増加する傾向がありますが、

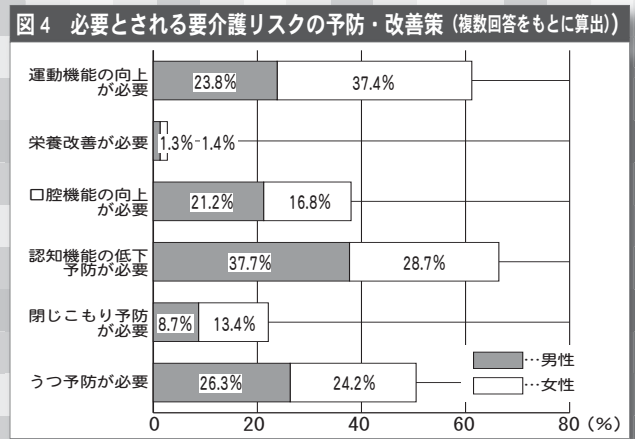
④ 介護リスクの低減策は



介護リスクはさまざまな要因が複合的に関連しています。そうした介護リスクを避けることも介護予防の一助となるよう、からだ楽ラクダ教室をはじめ、転びにくい体づくり教室や介護予防いきいき講座など、町ではこれまでもさまざまな介護予防教室を開催しています。そうした教室があること

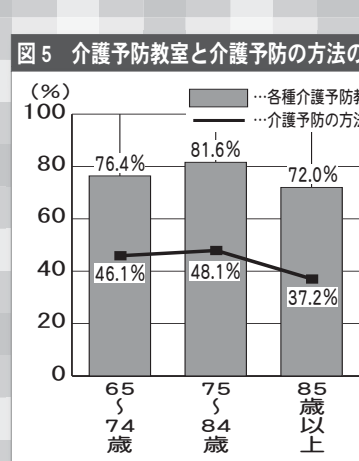
介護リスクはさまざまな要因が複合的に関連しています。そうした介護リスクを避けることも介護予防の一助となるよう、からだ楽ラクダ教室をはじめ、転びにくい体づくり教室や介護予防いきいき講座など、町ではこれまでもさまざまな介護予防教室を開催しています。そうした教室があること

⑤ 介護教室の認知度と介護予防の方法



また、歯磨きの習慣付けがないことで要介護リスクが3倍以上になることも分かりました。定期的な歯科検診を受けるようにしましょう。

ご紹介したものの以外にも、今回の調査から多くの課題が浮かび上がってきました。皆さんが住み慣れた地域で元気に過ごすためにはどうすればいいのか、調査結果を整理・検討し、具体的な取り組みに生かしていきますので、今後もご協力をお願いします。



を知っているかどうか、また介護予防の方法を知っているかどうかの認知度を調査した結果が図5です。すべての年代で7割以上の人が介護予防教室の存在を知っていました。介護予防の方法を知っていると回答した人は半数に満たない状況でした。介護予防教室の周知はある程度できていても、参加して介護予防の方法を学んでいただくところまでつながらない実態が見えてきました。



おめでとう！

平成25年度がんばった児童・生徒を表彰

役場本庁舎で3月6日、スポーツや芸術などで活躍した町内の児童・生徒を表彰する「平成25年度児童生徒表彰式」を行いました。(順不同・敬称略)

●問い合わせ先 町教育委員会教育総務課



教育長表彰

- 裏戸慎子(香住二中1年)
第59回青少年読書感想文兵庫県コンクール毎日新聞社賞
第73回全国教育美術展特選
- 柴本美優(香住二中2年)
第52回近畿中学校技術・家庭科研究大会優秀作品
- 松江智史(香住二中2年)
第73回全国教育美術展特選
- 坂田美優(香住二中2年)
第73回全国教育美術展特選
- 中瀬勝則(香住二中3年)
第73回全国教育美術展特選
- 清水二葉(香住二中3年)
第73回全国教育美術展特選
- 安田望(香住二中3年)
第73回全国教育美術展特選



町長表彰

- 沼田智貴(佐津小5年)
第34回兵庫県児童生徒彫塑展兵庫県教育委員会賞
- 石原凛花(村岡小4年)
兵庫県児童・生徒の交通安全ポスターコンクール最優秀賞(真知事賞)
- 山田皓生(香住一中3年)
第59回全日本中学校通信陸上競技兵庫県大会共通男子棒高跳第1位
- 中井終斗(村岡中3年)
第57回兵庫県中学校総合体育大会・第65回兵庫県中学校陸上競技大会共通男子棒高跳第1位
- 村瀬晶子(村岡中3年)
第62回近畿中学校総合体育大会陸上競技の部共通男子棒高跳第1位
- 西田すず乃(村岡中2年)
第57回兵庫県中学校総合体育大会・第64回兵庫県中学校卓球競技大会男子個人戦優勝
- 西垣和真(村岡中2年)
女子クロスカントリークラシカル第1位、女子クロスカントリーフリー第1位
- 川戸浩輝(小代中3年)
男子クロスカントリークラシカル第1位、男子クロスカントリーフリー第1位
- 小代中学校スキー部
第57回兵庫県中学校総合体育大会・第59回兵庫県中学校スキー選手権大会
団体総合優勝(男子、女子いずれも)、リレー競技第1位(男子、女子いずれも)

- 村岡中学校男子卓球部
第57回兵庫県中学校総合体育大会、第64回兵庫県中学校卓球競技大会男子団体戦第3位
- 小谷俊介(村岡中2年)
第52回兵庫県中学校卓球新人大会男子個人戦ダブルス準優勝
- 田中美多(村岡中1年)
第52回兵庫県中学校卓球新人大会男子個人戦ダブルス準優勝
- 小谷陽菜(村岡中3年)
第57回兵庫県中学校総合体育大会、第59回兵庫県中学校スキー選手権大会
女子スラローム第3位
- 西谷彩(村岡中3年)
第57回兵庫県中学校総合体育大会、第59回兵庫県中学校スキー選手権大会
女子ジャイアントスラローム第3位
- 上田純也(村岡中2年)
第57回兵庫県中学校総合体育大会、第59回兵庫県中学校スキー選手権大会
男子スラローム第3位
- 井上太智(村岡中1年)
第57回兵庫県中学校総合体育大会、第59回兵庫県中学校スキー選手権大会
男子クロスカントリーフリー第3位
- 西田瑠夏(村岡中2年)
ふれあいの祭典「ひょうご俳句フェスティバル」兵庫県議会議長賞
- 村岡中学校スキー部
第57回兵庫県中学校総合体育大会、第59回兵庫県中学校スキー選手権大会
団体総合準優勝(男子、女子いずれも)
- 小林笑果(小代中1年)
第57回兵庫県中学校総合体育大会、第59回兵庫県中学校スキー選手権大会
女子クロスカントリークラシカル第2位、女子クロスカントリーフリー第3位
- 藤村美侑(小代中1年)
第57回兵庫県中学校総合体育大会、第59回兵庫県中学校スキー選手権大会
女子クロスカントリーフリー第2位
- 上田美沙生(小代中2年)
第57回兵庫県中学校総合体育大会、第59回兵庫県中学校スキー選手権大会
女子クロスカントリークラシカル第3位
- 明保能紗耶(小代中2年)
第57回兵庫県中学校総合体育大会、第59回兵庫県中学校スキー選手権大会
女子ジャイアントスラローム第2位
- 今井智希(小代中3年)
第57回兵庫県中学校総合体育大会、第59回兵庫県中学校スキー選手権大会
男子クロスカントリークラシカル第2位
- 澤田海大(小代中2年)
第57回兵庫県中学校総合体育大会、第59回兵庫県中学校スキー選手権大会
男子クロスカントリーフリー第2位





国民健康保険（国保）被保険者証

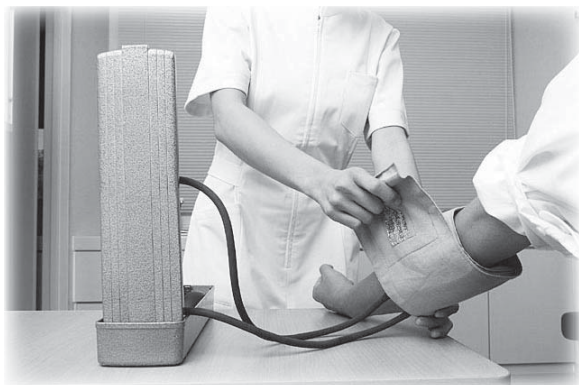
就職・退職した人は忘れずに切り替えを！

●問い合わせ（手続き）先 役場健康課・各地域局

皆さんが病気やけがをしたときに安心して医療機関を受診できるよう、すべての人が何かしらの医療保険に加入しなければなりません（国民皆保険制度）。

春は異動のシーズンです。会社などを退職した人は国保への加入手続きを、会社などに就職した人は国保の脱退手続きを、それぞれ14日以内に忘れずに行いましょう。

なお、町内外への転入・転出の際には、役場窓口での住民票異動手続きに併せて国保の加入・脱退手続きをご案内します。



退職した場合（国保加入）

会社などを退職して職場の健康保険を脱退したり、その被扶養者でなくなった場合、国保に加入する必要があります。

役場または各地域局に①健康保険資格喪失証明書（雇用保険の離職票は不可）②年金証書（60歳以上65歳未満の年金受給権のある人）③印鑑——を持参し、加入手続きを行ってください。

就職した場合（国保脱退）

会社などに就職して職場の健康保険に加入したり、その被扶養者になった場合、国保を脱退する必要があります。役場または各地域局に①職場の健康保険証（コピー可）②国保被保険者証③高齢受給者証（該当者のみ）④印鑑——を持参し、脱退手続きを行ってください。

※加入・脱退いづれの場合も、自動的に切り替わることはありません。該当する人が自分で行う必要があります。

※就職などで国保を脱退した後、誤って国保被保険者証を使用して医療機関を受診した場合、保険医療機関から請求のあった国保負担分を返還していただきます。



国民健康保険（国保）加入者の高齢受給者証

4月から負担割合が変更！

●問い合わせ先 役場健康課・各地域局

70歳以上75歳未満（後期高齢者医療制度に移行するまで）の国保加入者に交付されている「高齢受給者証」（受給者証）は、医療機関窓口での自己負担割合を示す証明書で、70歳になる誕生日の翌月以降に医療機関を受診する際は、国保の保険証と併せて提示する必要があります。

これまで、その自己負担割合は1割または3割でしたが、今年4月以降は左表のとおり変更となります。

●今年4月以降の自己負担割合

高齢受給者証の交付対象者	自己負担割合
「今年4月1日まで」に70歳になる人 (すでに70歳に到達している人を含む)	1割※1
「今年4月2日以降」に70歳になる人	2割※1※2
生年月日に関わらず「現役並み所得」の人	3割

※1…所得の状況により3割となる場合があります。

※2…70歳の誕生日の翌月（1日が誕生日の人はその月）から対象となります。

●受給者証の送付

新たに交付対象となる人やすでに交付を受けている人に、次のとおり送付する予定です。

- ①今年4月1日までに70歳（すでに70歳に到達している人を含む）になる対象者には、3月末までに送付します。
- ②今年4月2日以降に70歳になる交付対象者には、誕生日の月末までに送付します。

すでに受給者証をお持ちの人は、新しいものが届いた際に内容をしっかり確認していただき、間違いがなければこれまで使用していたものをハサミで裁断するなどして処分してください。





香美町農業委員会委員選挙

投票日は4月13日(日)です!

●問い合わせ先 町選挙管理委員会(役場総務課内)

4月8日(火)に告示される「香美町農業委員会委員選挙」は、4月13日(日)に投票日を迎えます。各投票区にある投票所で午前7時から午後8時までに投票をしてください。

◇選挙区

この選挙は町内に2つの選挙区を設けています。

- ・香住区選挙区(定数8人)
- ・村岡区小代区選挙区(定数12人)

◇投票できるのは…

今年1月1日現在で調製し、3月31日に確定する香美町農業委員会委員選挙人名簿に登録されている人に限られます。

◇期日前投票

仕事や旅行などの都合で投票日に投票に行けない人は期日前投票を行いましょう。また、他の選挙と同様に不在者投票もできます。

・期間

4月9日(水)～12日(土)

・場所

役場本庁舎、村岡地域局、小代区総合センター(小代地域局)

※この選挙の期日前投票場所は各選挙区に住所を有する人に限られ、例えば村岡区の人が役場本庁舎(香住区)で投票することなどはできません。

◇投票区および投票所

農業委員会委員選挙の投票区および投票所は、他の選挙(国政選挙、町長・町議会議員選挙など)とは異なる投票所があります。詳しくは、選挙の際に各世帯に郵送する投票所入場券をご覧ください(無投票の場合は郵送しません)。

◇投票区の一部変更について

本誌第107号(平成26年2月13日発行)でお知らせしたとおり、香住区の投票区のうち、今回の選挙から5つの投票区を2つに再編します。

なお、この変更は農業委員会委員選挙に限ったもので、他の選挙(国政選挙、町長・町議会議員選挙など)の投票区に変更はありません。



国民年金保険料の後納制度

過去10年分までを納付できます!

●問い合わせ先 役場町民課・各地域局

平成24年10月から始まった「国民年金保険料の後納制度」は、過去10年以内を納め忘れた保険料を過去にさかのぼって納めることができる制度です。

この制度を利用することで、受給資格を得て年金を受け取れたり、将来受け取れる年金額が増えたりする場合があります。

なお、この制度は平成27年9月末で終了するので、利用を希望する人は早めに申し込んでください。

■納付書の「使用期限」にご注意!

すでに後納制度を申し込んだ人で、平成16年4月以降分の後納保険料の納付を行っていない人は、納付書に記載された使用期限(平成26年3月31日)までに納付をお願いします。

※平成16年3月以前の後納保険料は10年を超えるため、平成26年4月以降に納付することはできません。

■申し込み方法や納付書の再発行に関するお問い合わせは…

次の国民年金保険料専用ナビダイヤルにお問い合わせください。

国民年金保険料専用ナビダイヤル

0570・011・050

※050から始まる電話からかける場合は「03・6731・2015」

●受付時間

月曜日 午前8時30分～午後7時

火～金曜日 午前8時30分～午後5時15分

第2土曜日 午前9時30分～午後4時

※お問い合わせの際は、基礎年金番号が分かるものをお手元にご用意ください。

※月曜日が祝日の場合は、翌日以降の開所日初日に午後7時まで相談をお受けします。

また、年末年始(12月29日～1月3日)は利用できません。

※専用ダイヤルは、一般の固定電話からかける場合、全国一律で市内通話料金で利用できます。ただし、一般の固定電話以外(携帯電話など)からの場合、通常の通話料金が掛かります。

※「03・6731・2015」の電話番号にかける場合、通常の通話料金が掛かります。





若者の意見をまちづくりに！

「香美町若者まちづくり懇話会」委員募集

●問い合わせ（応募）先 香美町若者まちづくり懇話会事務局（役場企画課内）

町内の若者が集まり、まちづくりに関する建設的な提言を行っている「香美町若者まちづくり懇話会」。

平成17年度から活動しているこの懇話会の平成26年度委員（公募分）を募集しますので、ぜひ応募いただき、まちづくりに建設的なご意見をお寄せください。

●募集人数

約10人（応募多数の場合は抽選）

●応募資格

町内に住所のある、おおむね20歳から45歳までのまちづくりに意欲的な人

●応募方法

役場企画課に備え付けの申込書（ホームページからもダウンロードできます）に必要事項を記入のうえ、4月18日（金）までに提出してください。FAX、メールでも受け付けます。

●活動内容

月1回程度、まちづくりについて会議（原則夜間開催、3区輪番）を行い、その結果を提言書にとりまとめ、町長に提出します。

なお、必要に応じて部会などを設置します。

●任期

平成26年度中（4月1日から平成27年3月31日まで）

●報酬など

報酬はありませんが、会議の開催場所によって交通費を支給します。



役場税務課からのお知らせ

●問い合わせ（縦覧・閲覧・提出）先 役場税務課・各地域局

平成26年度

固定資産評価額の縦覧

縦覧制度は、納税義務者が納付すべき固定資産税に係る土地や家屋の評価額が、町内のほかの土地や家屋の評価額と比べて適正かどうかを確認していただくための制度です。

●縦覧期間

4月1日（火）から4月30日（水）までの平日で、午前8時30分から午後5時15分まで

●縦覧できる人

固定資産税納税者
（手数料は無料）

●縦覧できる帳簿

- ・土地の固定資産税納税義務者は、「土地価格等縦覧帳簿（土地の所在地、地目、地積および価格）」
- ・家屋の固定資産税納税義務者は、「家屋価格等縦覧帳簿（家屋の所在地、家屋番号、種類、構造、床面積および価格）」

※縦覧を希望する人は、納税通知書、または本人確認のできる書類をご持参ください。

固定資産課税台帳の閲覧

納税義務者は、自己の所有する固定資産の課税台帳を閲覧することができます。また、借地人や借家人は、賃貸借契約の対象となっている固定資産の課税台帳を閲覧することができます。

●閲覧時間

平日の午前8時30分から午後5時15分まで
※納税義務者以外の人は、賃貸借契約書などの権利が確認できる書類を持参してください。

軽自動車税の減免申請

障害のある人またはその人と生計を一つにする人が所有する軽自動車などのうち、障害のある人のために継続的に使用されるものについて、軽自動車税を減免することができます。

●減免申請書提出期間

4月1日（火）から4月23日（水）まで

●提出書類

- ・軽自動車税減免申請書
- ・運転者の運転免許証の写し
- ・身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の写し

●注意事項

軽自動車税の減免を受けると、自動車税（県税）の減免は受けられません。また、外出支援サービス事業も利用できなくなります。



●問い合わせ先 役場企画課

「出会い・感動」をキーワードに、「夢但馬2014」がいよいよ来月スタート。そこで今月号から関連のイベント情報などを発信する「こちら夢但馬情報局」を開局します。

町内をはじめとして但馬各地で行われるさまざまな取り組みにぜひご参加いただき、皆さんも但馬の魅力を再発見してみませんか。

ラン、午前9時20分に10km・5kmスタート

▼見どころ
このマラソンは「山陰海岸ジオパーク」ライアスロン「但馬構成事業」の一つ。但馬内で行われる水泳、自転車、マラソンの3大会すべての参加者を対象に、その総合成績上位3人に豪華商品を贈呈。

申し込み方法や対象レースなどは夢但馬2014のホームページでご確認ください。

★但馬の美しい花見キャンペーン

▼見どころ
但馬3市2町にある桜の名所でお花見を楽しみながら、その周辺にある飲食店で限定「お花見ランチ」が食べられる、「お花見を「巨」と「舌」で楽しめる企画。

★夢但馬2014開会式・記念演奏会

▼4月26日(土)午後2時~4時

▼和山山ジ「ピナーホール」

▼見どころ
夢但馬2014の開会を記念して、世界的な指揮者である佐渡裕氏を招いて演奏会を行います。また「但馬・食文化まつり」(26、27日、和山山中央文化公園)も同時開催します。

★香住ジオパークフルマラソン

▼4月27日(日)午前9時にフルマ



町内では香住区森の「大乗寺」周辺が桜スポットです。お花見メニューを提供している飲食店は「夢但馬2014」ののほりが目印。

町外の桜スポットは豊岡市「城崎温泉大瀬川」の桜並木、養父市「樽見の大桜」、朝来市「立雲峡の桜」、新温泉町「正福寺の桜」など。



「春は強風の季節」

気象情報や警報・注意報に注意して「安全対策」を

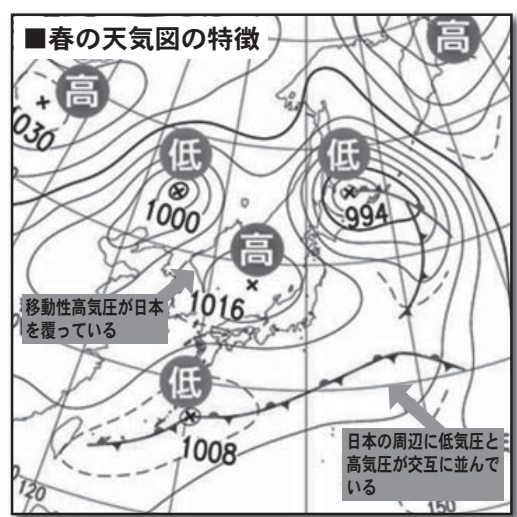
各地で桜が開花し、大型連休には行楽地へ。長く厳しい冬が終わり、さわやかな晴天が続く春は、屋外でのレジャーを楽しむ人も多いことでしょう。しかし、3~5月は「春の嵐」や「メイスーム」(5月の嵐)と呼ばれる強い風が吹くことがありますので、お出掛けの際には十分な注意が必要です。

さて、気象の世界では3~5月を春、その後、3カ月ごとに夏、秋、冬としています。どうして春に強い風が吹くのでしょうか。

春の風には低気圧が関係しています。冬の間、冷たい季節風を周期的に



●問い合わせ先 役場総務課防災安全室



吹かせていたシベリア高気圧は、春になるとその勢力を弱め、代わって移動性高気圧や低気圧が日本付近を交互に通過するようになります。その際、冬の冷たい空気と春の暖かい空気がぶつかり合うことで低気圧が急速に発達します。これが強い風を吹かせる原因です。

日本海を発達しながら進む低気圧の数は、年間を通して3~5月が最も多く、月平均では3、4個となっています。これからの季節、発達する低気圧があれば、天候の変化に十分注意するとともに、早めの強風・高波対策を行いましょう。

また、春は強風だけでなく「気温の急激な変動」といった短時間での気象状況の変化が起きやすい季節で、落雷による停電、乾燥による火災の規模拡大、ひょうや遅霜などによる農作物被害の発生が懸念されます。こうした被害を未然に防ぐため、日ごろから気象情報や警報・注意報に注意しましょう。

香住第一中学校出身

春高バレー出場者が浜上町長に結果報告

1月5日から東京体育館で行われた第66回全日本バレーボール高等学校選手権大会（春高バレー）に出場した香住第一中学校出身の3人が2月17日、役場本庁舎で大会結果などを浜上町長に報告しました。

訪れたのは岡下拓也さん（市立尼崎高校3年、香住区森出身）、今後綾乃さん（夙川学院高校3年、同区間室出身）、古島明奈さん（同校3年、同区下浜出身）の3人。岡下さんがセンター、今後さんがセッター、古島さんがウイングスパイカーとして試合に出場したものの、市立尼崎高校は2回戦で、夙川学院高校は1回戦でそれぞれ惜しくも敗れました。

「優勝を目指して大会に臨んだが、とても緊張した」と語り、大会結果やそのときの心情を報告した3人に対し、浜上町長は「試合には敗れたものの、今後の人生を送るうえで素晴らしい経験をされた。これを契機にさまざまなことに積極的に挑戦してもらいたい」と激励しました。



▲浜上町長に結果を報告する（右から）岡下さん、今後さん、古島さん

就職が決まり、春から社会人として新たな一歩を踏み出す古島さんは「全国大会の雰囲気は県大会とは違い独特のもの。結果は悔しいですが、チーム一丸となって頑張れたので満足しています」と笑顔で語ってくれました。



消費生活相談

賢い消費者になりましょう！

～東京オリンピックに関連した詐欺～

【事例】

自宅に白い封筒が届いた。中には宝石のパフレットや購入用紙。

その後、知らない業者から電話が。「封筒の送り主は大手宝石会社で、東京オリンピックのメダルを作ることになった。当社はその会社に協賛したいので、あなたに届いた封筒を譲ってほしい。そのお礼に商品券や旅行券を渡すので」と言われた。断ったが「後日、自宅に伺う」と言って電話が切れた。

なんだか怪しいのだが、どうすればいいのか。

相談は
こちへ…

役場消費生活相談窓口（町民課内）
TEL 0796・36・1941（直通）

たじま消費者ホットライン
TEL 0796・23・1999

※相談無料で秘密は厳守!!

【ひとことアドバイス】

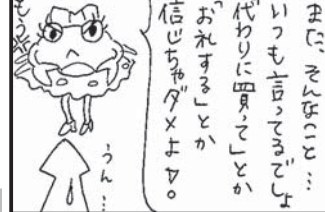
◇悪質業者は世間で話題になっている出来事などを利用して近づいてきます。東京オリンピックに関連したものは今後も増えることが予想されます。

◇「お礼をしたいが、そのためには手数料や保険料が必要」と説明し、ATMでの振り込みや宅配便を使った現金の送付を指示してきます。

◇そして「代わりに宝石を買ってくれたら高値で買い取る」などと持ちかけてくる場合も。こうした勧誘は「買え買え詐欺」です。怪しいと感じた電話はすぐに切りましょう。

◇少しでも不安に感じたら、お金を払う前に窓口で相談を。また、業者の名前や連絡先も控えておきましょう。

こんなとき、どうする？



文芸かみ

香住短歌会

おめでとうございます

町内から表彰受賞者がありました

(順不同・敬称略)

兵庫県こうのとり賞

(長年にわたり児童・生徒の通学路である国道9号の歩道除雪(村岡区八井谷～福岡)に貢献)

井上實二(村岡区福岡)



兵庫県知事表彰

【永年勤続退任民生・児童協力委員功労】(在職10年以上)

福田千恵子(小代区久須部)、中山かね子(村岡区和田)、

前田光代(香住区沖浦)、田中昭喜(村岡区用野)、

丸山絹子(村岡区長須)、福井恒子(村岡区寺河内)、

亀村亀代(村岡区入江)、阿瀬ぬい(村岡区村岡)、

濱名さとみ(香住区相谷)、安田美知子(香住区奥安木)、

山田富美代(村岡区村岡)



公共事業評価

審査結果のお知らせ

●問い合わせ先 役場企画課

町では公共事業の選択や実施に当たり、投資効率や実施過程の透明性を高めるため、その必要性や効果などについて評価を受けています。

このたび開催された審査会で平成26年度以降に実施予定の事業について審査があり、次の事業が原案のとおり認定されました。

なお、公共事業の審査は「香美町公共事業評価審査会」(内部審査会)および「香美町総合計画審議会」(外部審査会)で行っています。

●審査結果一覧表

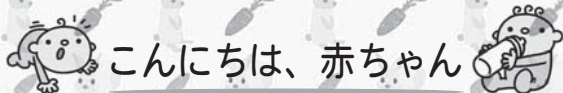
事業名	事業内容など
香住第一中学校 整備事業	校舎の耐震補強と老朽改修および改築を行うことで、生徒の安全で快適な教育環境を整備する。
小代簡易水道取水 施設整備事業	現水源は、安定した取水確保が困難な状況にあることから、青川の下流に新たな水源を確保し、安心・安全な水の供給を安定的に行うための整備を進める。
汚水処理施設共同 整備事業	効率的な施設運営や快適な生活環境を確保するため、現在、矢田川クリーンセンターで処理しているし尿、浄化槽汚泥、下水濃縮汚泥を香住浄化センターに受け入れできるよう施設整備を行い、下水道との共同処理を進める。

パラバラと雪の小人は降りて来て畑の大根に
帽子かぶせぬ 今井清子
鳥の声朝げの香る平凡な二人の暮らしに春日
の来客 岩本道代
岩肌に瀬をなし流れいく潮の冷たき中に岩の
りを摘む 大西弘
復元す狸の置き物にっこりと笑みて今朝より
新たなる今日 岡村美砂子
この肩に負った荷物の数知れず老いと寂しさ
加わりてゆく 川端幸代
年齢と年の日数かけあわせ働きの療養慰む
小西松子

生活に追われ働きのうちに秘密保護法案決
まりてしまふ 嶋田富美代
大松はすでに切られて訓谷の岩も草木もうち
ふるいぬる 滝本正直
しまい湯に熱めの湯を足しじんわりと疲れ流
せりこの時が好き 玉置美佐子
遠出せしや草の実つけて帰る犬主人を見つけ
すりよりてゆく 中村典子
山茶花は運ひらくごと唄うごと咲き極まれぬ
わが心にも 沼田和代
トンカラと機械織る母が夢に頭つ姉さん被りに
原田明美
白い割烹着の

大年の海辺に一人佇ずみて心の贅まで風にさ
らしぬ 藤原町子

◆定例会 (香住区中央公民館)
毎月第二木曜日
午後1時30分～午後4時



この記事につきましては、関係者の皆さんにホームページ上での公開承諾を得ておりませんので、個人情報保護によりホームページ上での掲載を控えさせていただきます。

※このコーナーは、先月(1/21～2/20)の届出分の内、承諾を得た方のみ掲載しています。(届出順・敬称略)

お悔やみ申し上げます

この記事につきましては、関係者の皆さんにホームページ上での公開承諾を得ておりませんので、個人情報保護によりホームページ上での掲載を控えさせていただきます。

※このコーナーは、先月(1/21～2/20)の届出分の内、承諾を得た方のみ掲載しています。(届出順・敬称略)

ロシア・ソチで行われた第22回冬季オリンピック。テレビをつけてるたびに日本人選手の活躍ぶりが目に飛び込んでくる日々が続きました。時差は5時間ですから、多くの競技が夜中に開催されました。夜遅くまでテレビを見たり翌朝の報道に一喜一憂されたのではないのでしょうか。当然私もその1人ですが▼競技会場の雪不足が懸念されましたが、大会も無事終了。そうかと思えば、日本では太平洋側を中心に何十年振りかの大雪。交通機関の混乱や孤立集落が発生するなど、多くの人が雪害を被りました▼異常気象が叫ばれて久しいですが、日本は四季の国。寒い冬も終わり、春はもうすぐそこです。体調管理が難しい時期ですが、皆さんくれぐれもご自愛を(みうら)

編集後記

求人情報

詳細はハローワークにおたずねください

(平成 26 年 2 月 20 日現在、順不同)



●問い合わせ先 ハローワーク香住 TEL 0796・36・0137

＜フルタイム＞

職種	事業所名	勤務地など	年齢	人数
調理師	県立香住高等学校 若潮寮	香住区一日市	不問	1
事務	たじま農業協同組合	美方郡内	不問	5
調剤薬局受付事務	㈱WOW GROUP	香住区内	不問	2
事務	大阪布谷精器㈱	香住区無南垣	不問	1
調理補助			不問	1
保育士	社会福祉法人 青葉福祉会	青葉保育園	不問	1
保育(看護師)			不問	1
水産加工	マルヤ水産㈱	香住区香住	不問	3
縫製	㈱ライフアート	香住区森	不問	3
雑役	㈱三十七	三十七館・三十七館	不問	1
調理師見習			不問	1
がしツクスト	ハバタック㈱	村岡区村岡	不問	1
機械部品製造	山本マシン	香住区大谷	不問	1
水産加工	モリタ食品㈱	香住区境	不問	2
水産加工	㈱ヤマヨシ	香住区上計	59以下	1
水産加工	㈱丸近	香住区香住	不問	5
土木施工技術者	合資会社 中村組	香住区香住	不問	2
土木施工技術者	㈱中弥技建工業	香住区香住	不問	2
清掃		公立香住病院	不問	1
事務	㈱北近畿環境開発	香住区間室	不問	1
機械設備管理補助		公立香住病院	不問	1
電気工事士		香住区間室	不問	1
びん詰め作業	香住鶴㈱	香住区小原	不問	1
介護	社会福祉法人 香美町社会福祉協議会	香住区無南垣	不問	2
現場管理	石井建材㈱	村岡区村岡	不問	2

＜パートタイム＞

職種	事業所名	勤務地など	年齢	人数
医療事務	㈱メディカルケア	香住区香住	不問	1
食品製造	マルコ食品㈱	香住区香住	不問	8
がしツクスト	ハバタック㈱	村岡区村岡	不問	1
調理	㈱ワックス 尼崎市立美方高原自然の家食堂	小代区新屋	不問	1
販売ほか	ゴダイ㈱	香住区香住	不問	2
レジ・品出し			不問	1
惣菜担当	㈱トヨダ(フルツバザール香住店)	香住区香住	不問	1
早朝品出し			不問	1
調理補助・配食	社会福祉法人 香美町社会福祉協議会	小代区忠宮	不問	2
レジ		村岡区大糠	不問	2
食品品出し	㈱ナカケ	香住区若松	不問	1
鮮魚加工			不問	1
販売	㈱コメリ中四国地区本部	香住区香住	不問	1
警備	但馬ダイエー警備保障㈱	町内	18以上	5
介護	社会福祉法人 香寿会	香住区森	不問	3
看護	村瀬医院	村岡区村岡	不問	1
接客・調理補助	㈱さだ助	香住区下浜	不問	1
水産加工		香住区香住	不問	1

写真でつづる
まちのできごと

Photo News



白銀の世界を舞台に熱戦！ 第9回香美町民スキー大会（1月26日、おじろスキー場）

今年で9回目を迎える「香美町民スキー大会」（町・町教育委員会主催）が1月26日、おじろスキー場で行われ、アルペン・クロスカントリースキーの2部門で計88人が熱戦を繰り広げました。

この日はあいにくの雪模様。良好とはいえない状況の中、全長250mに10旗門が設けられたアルペンの部では、小学生から一般まで計66人が男女・年代別に14組に分かれ、日ごろの練習の成果を競いました。

また、クロスカントリースキーの部には小学生から中学生までの計22人が参加。コースの全長は①小学4年生以下男女は1・5km②小学5・6年生男女と中学生女子は3km③中学生男子は4・5km——と年代によって異なるものの、それぞれの組で健脚を競いました。

2部門の各組優勝者は次のとおりです（敬称略）。



▲勢いよく旗門を通過する選手

〔アルペンの部〕

小学1・2年生女子▼井上真里愛

（射添小2年、村岡区熊波）、同男子

▼前垣康介（小代小2年、小代区茅野）、小学3・4年生女子▼中村祐

希（村岡小3年、村岡区大糠）、同

男子▼長川凌大（小代小4年、小代

区大谷）、小学5・6年生女子▼大

林未玖（兎塚小6年、村岡区大野）、

同男子▼中村大斗（村岡小6年、村

岡区大糠）、中学生女子▼小谷陽菜

（村岡中3年、村岡区八井谷）、同男

子▼西井友基（村岡中2年、村岡区

池ヶ平）、高校生▼24歳男子▼山本

奨（村岡区日影）、25歳▼34歳男子

▼田淵崇（小代区新屋）、40歳以上

女子▼井上博子（村岡区熊波）、35

歳▼44歳男子▼中村達也（小代区佐

坊）、45歳▼54歳男子▼岡田久志（村

岡区板仕野）、55歳以上男子▼山根

文隆（村岡区黒田）

〔クロスカントリースキーの部〕

小学4年生以下女子▼坂本実優

（小代小4年、小代区大谷）、同男

子▼伍々 颯（小代小3年、小代区

新屋）、小学生5・6年生女子▼井

上笑花（小代小6年、小代区秋岡）、

同男子▼小林友星（小代小5年、小

代区新屋）、中学生女子▼西田すず

乃（村岡中2年、村岡区日影）、同

男子▼藤澤玲佐（小代中3年、小代

区水間）



「雪不足もなんのその」 白熱した攻防戦！ 第14回兵庫県雪合戦大会（2月1、2日、小代健康公園）

第14回兵庫県雪合戦大会が2月1、2日の両日、小代健康公園（小代区忠宮）で行われ、一般、レディース、ジュニアの3部門に町内外から集まった54チーム約540人が参加、熱戦を繰り広げました。

試合は、監督と選手7人で編成されたチームで、制限時間3分内に相手チームのフラッグを抜くか、コートに残った選手の人数で勝敗を決します（決勝トーナメントは2セット先取）。

念入りな作戦を立てて相手陣地に迫るチームや、残り時間わずかまで逆転をかけて相手フラッグに向かってダッシュするチームも。見応えのある攻防に、選手だけでなく会場に詰めかけた観客も手に汗を握っていました。

なお、大会結果は次のとおりです。

一般の部▼1位 大和野郎（村岡区）、2位 GMTM（豊岡市）、3位 兵庫T-7（小代区）、レディースの部▼1位 村岡御殿（村岡区）、2位 光陽ママ（同区）、3位 進撃のSNOW人（村岡区）、ジュニアの部▼1位 村岡イーグルス（村岡区）、2位 雪合戦隊ーMOLRENジャー（同区）、3位 小代美少クラブ（小代区）



▲相手めがけて全力で投げる選手（雪不足のため、布製の球を使用）



人権問題への理解を深めるために…

第33回差別をなくする町民のつどい（2月15日、香住区中央公民館）

一人ひとりの人権が尊重される社会を目指そうと「差別をなくする町民のつどい」（町人権教育研究協議会香住支部主催、原昌久支部長）が2月15日、香住区中央公民館で行われました。参加した約400人は、小中学校の児童・生徒や人権問題に取り組んでいる一般からの実践発表などに耳を傾けて、人権の大切さを再確認しました。

今回が33回目となるこのつどいは、同和問題をはじめとした人権問題への理解を深め、人権意識の向上や実践につながる気運の醸成が狙い。冒頭、原支部長が「世界各国でも人権への配慮がみられるようになり、世の中の流れが少しずつ変わってきたように感じます。皆さんも今回のつどいを通して一歩でも前進していただき、人権への理解を深めてください」と会場に呼び掛けた後、「差別のない優しい町づくりをめざして」をテーマに、佐津・奥佐津の2小学校と村岡中学校など計5団体が実践発表を行い、さまざまな角度からの問題提起を行いました。



▲1年間の学びを発表する佐津小学校の児童の皆さん

このうち佐津小児童51人は「友だちのよさを知り、つながり合う佐津っ子」と題して、全校児童で取り組んでいるファミリア活動の事例を発表。「ファミリア」とは、学年に関係なく全校児童を4つのグループに分け、学校行事などを行うもの。子どもたちはファミリアで行った給食や遠足、クリーン作戦などを通して「助け合うことや力を合わせる大切さが分かった」「自分たちで考え、行動することができるようになった」と発表。「佐津っ子は暖かい家族のよう」とまとめました。



雪とたわむれ、元氣よく！

第17回美方高原雪まつり（2月16日、ミカタスノーパーク）



▲ゴールを目指してソリを引く参加者（美方ミニソリレース）

毎年恒例となる美方高原雪まつりが2月16日、スキー客で賑わいを見せるミカタスノーパークで行われました。

地元新屋区やミカタスノーパークなどがつくる実行委員会（委員長、田野新一新屋区長）が主催し、今年が17回目。テーマの「雪は友だち」になぞらえた雪上綱引き大会やミニソリレース、雪像コンテストなどユニークな競技のほか、地元特産物のバザーなどもあり、見どころや味どころ満載。町内外から訪れた大勢の家族連れなどが銀世界での雪遊びを楽しみました。

田野委員長が「地元と観光客の皆さんの交流を深めるこの祭りを通して、1人でも多くの人に小代の素晴らしさを知ってもらいたい」とあいさつし、祭りは開会。3人1組で1周約100mのコースを疾走してタイムを競う「美方ミニソリレース」には、18チームがエントリー。体重の軽い子どもをソリに乗せ、大人2人が引っ張るチームがほとんどでしたが、カーブに差し掛かると、勢い余ってソリが横転するチームが続出。会場からは歓声とともに大きな笑い声が上がっていました。

そしてメインの「全日本雪上綱引き競技大会」には8チームが出場。1人以上の女性を含む5人1組で、トーナメント方式で優勝商品の地元産コシヒカリ1年分（約60kg）を目指します。

靴の上からビニール袋をかぶせた選手は、滑る足で思うように踏ん張れず、転倒したあげくに綱に引きずられる選手も。家族連れで参加した角矢琴波さん（三田市立三輪小2年）は「初めて参加したけど、足が滑るから力を入れて引っ張れなかった」と残念そうでした。



▲滑る足元に注意して綱を引く参加者（全日本雪上綱引き競技大会）

役場各課など 主な施設の連絡先

役場本庁舎	36・1111(代表)
総務課	36・1111
財政課	36・1942
企画課	36・1962
税務課	36・1113
会計課	36・4321
町民課	36・1110
消費生活相談	36・1941
健康課	36・1114
福祉課	36・1964
農林水産課	36・0846
観光商工課	36・3355
建設課	36・1961
上下水道課	36・0420
議会事務局	36・1963

村岡地域局 94・0321(代表)
小代地域局 97・3111(代表)

町教育委員会 94・0101
香住区中央公民館
(香住区生涯学習センター)
36・3764
村岡区中央公民館
98・1366
小代地区公民館
(小代区地域連携センター)
97・3966

公立香住病院 36・1166
公立村岡病院 94・0111

香住文化会館 36・1026
香住老人福祉センター 36・5008
村岡老人福祉センター 98・1000
小代高齢者生活支援センター 97・2202

(すべての施設の市外局番：0796)

まちのうごき (平成26年2月1日現在)

合計	19,836人 (-20)
男	9,494人 (-6)
女	10,342人 (-14)
世帯数	6,779世帯 (-5)

カッコ内は前月比



◇問い合わせ先 町教育委員会生涯学習課

香住区浜安木の八坂神社

モチノキを中心とした社叢

今回ご紹介するのは、町の北東に位置する香住区浜安木の八坂神社周辺の社叢、いわゆる鎮守の森です。

地域の守り神である各地の神社。日々のお参りに始まり、豊作や地域の安全を祈願する祭りの場、人生の節目に感謝の気持ちを伝える場として、古くから人々の身近にあり、親しまれ、大切に受け継がれてきました。そして、地域の人々が集う神社の周辺には、必ずといっていいほど森や木々が残されています。

昔から、人知の及ばないものに対して人々は畏敬の念を抱き、そうしたものに神が宿ると考えてきました。きっと神社の周りの木々にも神性を感じ「む

やみに切っつてはいけません。ばちが当たる」と考えたのでしよう。また、全国を見渡すと、高い山や巨木それ自体を信仰の対象としている場所もあります。こうした「自然崇拜」の一端が鎮守の森に見てとれます。まさに日本人の心のよりどころであり、日本人の原風景なのでしょうね。そして、人々のそうした思いが受け継がれ、鎮守の森は地域で大切に守り育てられてきました。

さて、鎮守の森は植物生態学的にみると、ほぼ極相林に達しているといわれます。極相林とは、植物群がその地域の気候条件に適合し、樹種の構成が長期間にわたってさほど変化しない状態を指します。極相林となる過程は、何もない場所に①草が生えて②背が低く日なたを好む陽樹が育ち③陽樹を主とした雑木林が形成され④雑木林の日陰に比較的暗い場所でも育つ陰樹が育ち⑤陰樹を中心とした照葉樹林(極相林)が形成される——というものです。この過程を植生遷移とよび、鎮守の森の多くは、こうした過程を経ながら人々と密接に関わってきました。八坂神社を胸に抱くような姿をみせる浜安木区の鎮守の森も、そうした極相林と考えられています。直径2mを超える陰樹「モチノキ」の大木20本の群生を中心として、ケヤキの大木やツバキの群生などさまざまな植生を持つことから、昭和52(1977)

年12月に町指定天然記念物に指定されました。神聖な場所であるとともに、地域のシンボルとして昔から大切に守られて人々の暮らしの一部となっている鎮守の森。そこには私たちの考えが及ばないほどの長い時間をかけて育まれた自然の営みがあります。人々と自然をつなぐ鎮守の森の神様は、きっと私たちを見守ってくれているのでしょうね。



▲浜安木区の八坂神社周辺の社叢